

平成 27 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業
重点課題

分野	番号	技術の内容・性能
交通	1 -	従来型ディーゼル車に対して燃費 1.75 倍程度の小型～中型 FCトラックの開発・実証
	1 -	EV や PHV、FCV に搭載可能な、空調補助用の高密度蓄熱体(1,000kJ/kg 程度) の開発・実証
	1 -	水素純度 99.99%以上、かつメカニカルコンプレッサなしで水電解だけで 70MPa 程度の高圧水素を製造する再エネ由来水素ステーション関連技術の開発・実証
	1 -	従来ディーゼル自動車と同等程度の熱効率を有するディーゼル・デュアル・フューエル(軽油着火型天然ガスディーゼルエンジン) の開発・実証
	1 -	従来車に対して燃費 1.75 倍程度の燃料電池ゴミ収集車の開発・実証
建築物等	2 -	新素材の磁石を用いたエアコンや冷蔵庫等向けのコンプレッサー(現行機から 20%程度の効率向上) の開発・実証
	2 -	業務用施設等向けの高効率ターボ冷凍機(COP7 程度、空調用温度域での利用) の低コスト製品の開発・実証
	2 -	三重効用化や再エネ熱・未利用熱利用等により、高効率吸収式冷温水機(COP2 程度、空調用温度域での利用) の開発・実証
	2 -	食器洗い乾燥機や浴室乾燥機へのビルトインが可能な小型ヒートポンプ給湯器(COP2 程度、乾燥用温度域での利用) の開発・実証
	2 -	永久磁石を用いて冷暖房を行う磁気ヒートポンプ技術(COP10 程度、空調用温度域での利用) の開発・実証
	2 -	複層ガラスのトップランナー目標と同等の断熱性能を持たせたまま、日射取得率を大幅に抑制(70%程度カット) する調光型窓ガラスの開発・実証
再生可能エネルギー・自立分散型エネ	3 -	浮体式洋上風力発電施設における係留コストを 25%程度低減する新しい係留方法の開発・実証
	3 -	既設の風力発電施設リパワリング用の高効率タービン(年間発電量 10%程度増加) の開発・実証

ルギー	3 -	小規模設置の可能な低設置コスト(25万円/kW以下)かつ高効率(発電効率20%程度)なマイクロインバーター一体型太陽光発電パネルの開発・実証
	3 -	低温(150度以下)の未利用熱を直接電力に変換する高効率(2kW/m ² 程度)な装置の開発・実証
	3 -	地中熱や河川水/下水/中水等に利用可能な水熱源対応型の低コストヒートポンプ(COP4程度)の開発・実証
	3 -	太陽光・風力発電等の発電電力回収量を10%程度向上させる技術の開発・実証
バイオマス・循環資源	4 -	国内で発生する未利用間伐材等を活用した総合効率80%程度のコージェネ(製品化されていない数百kW規模)の開発・実証
	4 -	従来型ジェット燃料から代替可能な低コスト(100円/l程度)型バイオジェット燃料(ライフサイクルCO ₂ を50%以上削減)製造技術の開発・実証
	4 -	食品廃棄物等の廃棄物系バイオマスを含む種類の異なるバイオマスを混合し、その投入量に対して熱利用率が350kWh/t程度のバイオガス化システムの開発・実証
	4 -	既設の一般廃棄物発電設備リプレイス用の高効率発電(発電効率20%程度)の開発・実証
	4 -	一般廃棄物処理施設の規模ごとのエネルギー回収率を30%程度向上させる技術の開発・実証
	4 -	一般廃棄物処理施設の稼働にともなう発電効率の低下を50%程度抑制する保守技術の開発・実証